

# 熊本県の地産地消の推進に関する施策の報告

## 1 令和元年度(2019年度)の実績

### (1) 県民の県内農林水産物等への理解の深化及び郷土愛の育成

郷土料理の伝承、「食育」及び「木育」に係る活動、各種広報を活用した県内農林水産物等に係る情報提供等を行い、県内農林水産物等に対する理解を深め、郷土愛を育む。

| 番号 | 事業又は取組名   | 令和元年度最終予算額(千円)                 |
|----|---|--------------------------------|
|    | 事業又は取組の概要   | 担当部・課                          |
| 1  | <b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「くまもと地産地消PR強化事業」</b>   | 4,000                          |
|    | <p>県民の地産地消への関心を喚起し、実際の地産地消行動に繋げることで、県産農林水産物等の消費を拡大するため、地産地消協力店とテレビ等のメディアを活用した効果的なPRや国際スポーツ大会を盛り上げるための県産食材を使った地産地消フェアを実施した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のテレビ番組とタイアップし、量販店が実施する地産地消フェアを生中継(6回)</li> <li>・国際スポーツ大会の期間に合わせて熊本、八代、鹿本地域の地産地消協力店30店舗で地産地消フェアを実施。(10月～12月)</li> <li>・料理レシピフリーペーパーで県産食材を使用した地産地消レシピを紹介(大手スーパー等約200店舗に設置7月～3月)</li> </ul> | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 2  | <b>地産地消でおもてなし事業</b>   | 2,100                          |
|    | <p>県内のみならず、国内外からも多数の観戦客が訪れた女子ハンドボール世界選手権大会のレセプション会場とメイン会場に県産農産物で装飾したオブジェを設置した。また、参加24カ国の選手団に対して県産農産物(イチゴ(ゆうべに)、温州みかん)を贈呈した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子ハンドボール世界選手権大会の会場(レセプション会場及びメイン会場)にオブジェを設置</li> <li>・参加国選手団へ県産農産物を贈呈(24か国)</li> </ul>  | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 3  | <b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消サイト運営」</b>  | 1,440                          |
|    | <p>地産地消協力店に関する情報や、くまもと食・農ネットワーク運営委員によるリレーコラム、食の名人の料理レシピやイベント情報等の掲載の他、メールマガジンの配信(月2回程度)等で情報提供を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>サイトアクセス回数: 356,668件</p>   | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 4  | <b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消交流会・フォーラム」</b>  | 607                            |
|    | <p>生産者から消費者まで地産地消の関係者を対象とした交流会「2020春地産地消のつどい」を令和2年3月10日に開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p> <p>(実績)</p> <p>開催日: 3月10日<br/>場所: ホテル熊本テルサ<br/>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>   | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 5 | <p><b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食における地産地消普及事業(地産地消給食推進会議)」</b></p> <p>市町村の地産地消担当者、教育委員会、また校長、学校給食センター長等の学校給食関係者を対象として、県の学校給食における地産地消の取組の4年間の成果を共有するとともに、更なる推進に向け、市町村における組織的対応の必要性について理解促進を図ることを目的に推進会議を開催した。</p> <p>(実績)<br/>開催日:1月17日<br/>場所:ホテル熊本テルサ<br/>参加者数:78名</p> | <p>1,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 6 | <p><b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「地産地消モデル献立作成事業」</b></p> <p>学校給食における地場産食材活用を推進するため、栄養教諭が地産地消の献立を作成する際の参考となるよう、地域別の生産品目の旬の出荷情報等を踏まえた学校給食の年間モデル献立を作成した。</p> <p>(実績)<br/>・6地域分(熊本、宇城、上益城、玉名、鹿本、芦北)、計900部作成<br/>・関係機関へ配布(学校給食センター等379か所)</p>                                     | <p>2,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 7 | <p><b>卸売市場整備活性化事業のうち「拠点卸売市場活力アップ事業」</b></p> <p>熊本地方卸売市場関係者の意識の向上を醸成するため、研修会を開催するほか、県産農林水産物の認知度アップと消費拡大を図るため料理教室の開催、HPによる情報発信を行った。</p> <p>(実績)<br/>調査:2回、研修会:1回、料理教室:7回、広報活動:12回</p>   | <p>1,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
| 8 | <p><b>県内開催国際スポーツ大会地域食材等PR事業</b></p> <p>県内で開催されるラグビーW杯、女子ハンド世界選手権において、試合会場へ足を運んでいただけるような環境づくりとして、県産農林水産物のPRを通じたファンゾーンの賑わいづくり等を行った。</p> <p>(実績)<br/>・ラグビーW杯のファンゾーンにおいて4団体が出展。県産農産物の販売・PRを展開。<br/>・女子ハンドボール世界選手権大会の山鹿会場・八代会場をはじめとした4会場において、地域農産物の試食提供や展示等各地域の魅力を発信。</p>          | <p>3,948</p> <p>農林水産部</p> <p>農林水産政策課</p>    |
| 9 | <p><b>農林水産業・地域の振興推進事業のうち「くまもと農業フェア負担金」</b></p> <p>県民に本県の農畜産物を広くPRするとともに、「食の安全・安心」、「農業の多面的機能」等について理解を促進した。</p> <p>(実績)<br/>開催日:11月9日～10日<br/>場所:熊本県農業公園カントリーパーク<br/>参加者数:約20,000人(2日間合計)</p>   | <p>1,964</p> <p>農林水産部</p> <p>農林水産政策課</p>    |

|    |   |                     |
|----|---|---------------------|
|    | <b>くまもとの米・麦・大豆魅力発信・競争力強化事業</b>  | 1,542               |
| 10 | 「くまもとのお米の本」を作成し、県内小学校等へ配布した。また、小・中学校及び高校生を対象に県産の米・麦・大豆をテーマとした料理講習会等を開催した。その他、「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクールの後援を実施した。<br>(実績)<br>「くまもとのお米の本」配布:253校(15,100部)<br>小・中学生料理講習会:14校開催<br>高校生料理講習会:17校開催   | 農林水産部<br><br>農産園芸課  |
|    | <b>ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「食文化継承事業」</b>  | 2,045               |
| 11 | 各市町村における「くまもとふるさと食の名人」の持続的確保と活用を進めるとともに、「くまもと食文化アドバイザー」を依頼し、より効果的な食育活動を支援した。<br>(実績)<br>食の名人新規認定者:20名<br>活動者総数:333名<br>活動回数:1,481回<br>対象者数:58,813人(うち学校関係343回、11,477人)  | 農林水産部<br><br>むらづくり課 |
|    | <b>ふるさとの食継承・活用推進事業のうち「くまもとふるさと食の名人派遣事業」</b>   | 1,652               |
| 12 | 食の名人を高等学校に派遣し、「ふるさと食の技」の伝承や農業への理解を深めるための活動を支援した。<br>(実績)<br>派遣した食の名人数:延64人、派遣先(高校):12校、派遣回数:23回、受講生徒数:594名  | 農林水産部<br><br>むらづくり課 |
|    | <b>特用林産物流通促進事業</b>  | 3,181               |
| 13 | 山村地域の重要な換金作目である特用林産物の生産技術向上、流通・販売促進、普及啓発を目的としたイベントを開催した。<br>(実績)<br>「2019 くまもとしいたけ祭り」6月1日開催(来場者:2,000名)<br>「竹の日フェスタ2019 in上通」7月6日～7日開催等   | 農林水産部<br><br>林業振興課  |
|    | <b>くまもと県産材需要拡大総合推進事業のうち「県産材需要拡大消費者対策事業」</b>   | 878                 |
| 14 | 前年に引き続きマスメディアを使ったPR事業を行った。<br>(実績)<br>木材関係事業者が組織する団体が主体的に実施する活動のうち、「熊本日新聞(朝刊)」(計6回掲載)   | 農林水産部<br><br>林業振興課  |
|    | <b>くまもとの木と親しむ環境推進事業</b>   | 26,000              |
| 15 | 県産木材で作った木製遊具の貸し出し及び森林の役割や木のよさを伝える紙芝居や絵本の読み聞かせ等、全4事業を実施し、木と親しむ環境の普及啓発に取り組んだ。<br>(実績)<br>・木製遊具貸出等:37団体、ものづくり体験イベント:県内4箇所<br>・県内の幼稚園・保育園、小中学校等への机・椅子等の木製品の導入に係る補助:16事業体<br>・小学5年生社会科用副読本、中学技術家庭科用副読本の作成<br>・木育インストラクター養成講座(初級・中級・上級)、くまもと木育のつどいの開催<br>・木育の取組を行う団体等に対する補助:9団体 | 農林水産部<br><br>林業振興課  |

|    |  |                       |
|----|--|-----------------------|
|    | <b>くまもとの漁村元気づくり事業のうち「地魚マスター活動支援」</b>   | 754の一部                |
| 16 | 地魚マスターも所属する熊本県鮮魚販売組合連合会が行う水産物消費拡大活動への支援を行った。<br>(実績)<br>消費者へ水産物消費拡大を啓発するHP作成等への補助  | 農林水産部<br>水産振興課        |
|    | <b>ふるさとくまもと応援寄附金推進費のうち「感謝の品贈呈」</b>   | 36,000の一部             |
| 17 | 「ふるさとくまもと応援寄附金」に係る寄附者に対して、熊本県からの感謝の意を示し、併せて県産品のPRに資することを目的として、感謝の品を贈呈した。<br>(実績)<br>デコポン、くまもとの馬刺し等60品目を1,989セット贈呈  | 総務部<br>税務課            |
|    | <b>スポーツによる地域活性化事業のうち「ロアツ熊本支援県民運動推進事業」</b>  | 3,000                 |
| 18 | ロアツ熊本のホームゲーム開催時に、「火の国もりあげタイ！」の活動地域となる5市町村(熊本市東区、宇土市、小国町、氷川町、西原村)に焦点を当てた「タウンデー」にて、当該市町村の物産展等を開催した。<br>(実績)<br>計3回実施   | 企画振興部<br>地域振興課        |
|    | <b>「くまもと手仕事ごよみ」推進事業</b>  | 8,610                 |
| 19 | フェイスブック、インスタグラム及びホームページ上で、四季折々の地域の伝統工芸、伝統食、伝統芸能等に関する情報発信を継続して実施。また、伝統技術を現代に生かす作り手を紹介する展示イベント「くまもとの風合い展」やワークショップを開催し、「くまもと手しごと応援！企業」登録制度を通して、手仕事の普及啓発に取り組んだ。<br>(実績)<br>・くまもとの風合い展(8月開催)約1,100人来場<br>・ワークショップ(2回開催)計22人参加<br>・くまもと手仕事応援！企業登録18社 | 企画振興部<br>文化企画・世界遺産推進課 |
|    | <b>天草エアライン利用者に対する県産品の提供及びパンフレットの配布</b>   | (ゼロ予算)                |
| 20 | 天草エアライン機内にて地域の県産品(加工食品を含む)を提供し、地域産業の振興を推進した。<br>(実績)<br>・みかんちゃん(ジュース):8,021本<br>・天草サブレ:4,475個<br>・ドーナツ棒:2,083個<br>・うに豆:1,463個  | 企画振興部<br>交通政策課        |
|    | <b>子どもの食育推進事業</b>  | 1,653                 |
| 21 | 子ども自身が健康で豊かな食生活を営む力を身に付けるとともに、保護者が食生活の知識や技術を習得できるよう、地元の食材を使用した調理実習、栄養相談、講話等を実施した。<br>(実績)<br>調理実習等実施:16箇所  | 健康福祉部<br>子ども未来課       |

|    |  |                               |
|----|--|-------------------------------|
|    | <b>健康食生活・食育推進事業における地産地消推進の取組</b>   | <b>3,967</b>                  |
| 22 | <p>「第3次県健康食生活・食育推進計画」に基づき、健康食生活・食育推進連携会議の開催や、熊本県民食生活指針による食育実践行動の普及啓発に取り組んだ。</p> <p>(実績)</p> <p>くまもと健康づくり応援店指定店舗数628店舗のうち、地産地消を推進する店舗数381店舗</p>   | <p>健康福祉部</p> <p>健康づくり推進課</p>  |
|    | <b>「大型店の立地に関するガイドライン」による大型店への協力要請</b>  | <b>(ゼロ予算)</b>                 |
| 23 | <p>大規模小売店舗立地法に係る新設及び増床等の変更の届出があった大型店に対し、県の意見を通知する際に、ガイドラインで大型店に求める地域貢献策(県産品の販売促進・需要拡大への協力)への取組を要請し、特定大型店においては地域貢献計画書の届出により協力姿勢を確認していく。</p> <p>(実績)</p> <p>地域貢献計画書提出:2店舗、要請実績:8店舗</p>   | <p>商工観光労働部</p> <p>商工振興金融課</p> |
|    | <b>熊本の「食」を活用した誘客促進事業</b>   | <b>0</b>                      |
| 24 | <p>食事をしながら観光地や食材の産地を巡る、レストランバスと各地域の飲食店や観光地をタクシーで巡る「くまもとグルメタクシー」の運行を行い本県の食の魅力を活用した誘客促進を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>レストランバス:県内5地域8コースを24回運行、489名参加<br/>くまもとグルメタクシー:5事業者により5コースを2回運行</p>  | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>   |
|    | <b>庁舎ロビーへの県産品展示</b>  | <b>(ゼロ予算)</b>                 |
| 25 | <p>県庁本館1階ロビー受付横の展示ケースに、海苔等の農林水産物や球磨焼酎等の県産酒、太平燕等の加工食品、天草陶磁器等の伝統工芸品を展示し、県産品の魅力をアピールした。</p> <p>(実績)</p> <p>庁内ロビー展示:通年</p>   | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>   |
|    | <b>「がんばろう！熊本」観光復興事業のうち「交通事業者、旅行会社等と連携した誘客促進事業」</b>   | <b>36,569の一部</b>              |
| 26 | <p>JR西日本「リメンバー九州キャンペーン」(通年)及び、JR九州「熊本キャンペーン」(7月～12月開催)において、パンフレットやTVCM、SNS等で熊本の「食」を紹介した。</p> <p>DC(別予算:87,000千円、7月～9月開催)においても、「美味満載」として熊本の食をPRした。</p> <p>また、ぐるなびとの共同事業として、SNS(インスタグラム)を活用し、県外で熊本グルメを楽しめる飲食店情報を発信していた。</p> <p>(実績)</p> <p>・リメンバー九州キャンペーンにおいて21飲食施設でクーポン実施<br/>・ぐるなびとの共同事業で、熊本グルメ情報を発信した</p> | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p>   |

|    |  |                         |
|----|--|-------------------------|
|    | <b>食育推進事業</b>  | 283                     |
| 27 | <p>学校給食における「ふるさとくま(熊)さん(産)デー」の取組や郷土料理の提供、学校給食と関連付けた教育活動を研究する学校給食・食育研究推進校の指定を行い、地場産物活用の促進や県内の自然・食文化・産業についての関心・理解の深化及び望ましい食習慣の定着を図った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとくまさんデーを毎月19日前後に実施</li> <li>・栄養教諭等が在籍する学校の地場産物活用率(分母は使用食品数):6月・11月の1週分の活用実績48.9%</li> <li>・学校給食・食育研究推進校を2校指定</li> <li>・八代市立東陽小学校(学校給食・食育研究推進校指定2年目)が研究発表会を実施(参加者:150人)</li> </ul> | <p>教育庁</p> <p>体育保健課</p> |

## (2) 県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大

県内の直売所及び量販店等における県内農林水産物等の販売促進活動を支援し、県内農林水産物等の流通の促進及び消費の拡大を図る。

| 番号 | 事業又は取組名<br>事業又は取組の概要   | 令和元年度最終予算額(千円)<br>担当部・課                      |
|----|--|--|
| 28 | <p><b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食における地産地消普及事業(アドバイザー招聘支援事業)」</b></p> <p>学校給食における地産地消の推進に取り組む市町村を支援。なお、取組をより実効性のあるものとするため、学校給食における地産地消の体制づくりの専門家を招聘して実施することを必須条件として実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>支援数:1市(八代市)、5町(菊陽町、南小国町、高森町、山都町、津奈木町)</p> | <p>3,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>  |
| 29 | <p><b>くまもとの未来を築く子どもたちへの学校給食支援事業のうち「学校給食向け県産食材流通モデル実証事業」</b></p> <p>学校給食へ地場産品を安定的に供給できる流通体制を構築するため、調整役となる地域の直売所等の中間組織を核とした流通モデル構築の支援を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>広域本部単位2地域で実施<br/>事業主体:(県北)菊池地域農業協同組合、(天草)維和島振興協議会</p>                          | <p>4,000</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p>  |
| 30 | <p><b>販促資材等の配布による直売所支援</b></p> <p>地産地消啓発チラシ等を配布するとともに、地産地消サイトによる情報発信支援等を行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くまもと農業フェア」(11月開催)において地産地消啓発チラシを配布</li> <li>・地産地消協力店約280店舗に「旬のカレンダー」を送付</li> </ul>                    | <p>(ゼロ予算)</p> <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |

|    |  |                           |
|----|--|---------------------------|
|    | <b>新規需要米総合推進事業のうち「米粉普及定着対策」</b>  | 21,852の一部                 |
| 31 | <p>米粉インストラクターを派遣し、消費者向け米粉料理教室を開催。その他、米粉インストラクター研修の実施や、くまもとの米粉HPで県産米粉の情報発信を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>米粉インストラクター派遣:7箇所<br/>料理教室:3回<br/>米粉インストラクター研修:1回</p>   | <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p> |
|    | <b>県産麦パートナー強化推進事業</b>  | 3,080                     |
| 32 | <p>生産者、製造・販売業者による連携体制を構築し、高品質麦生産に一体となって取り組むとともに、小麦では県産ミナミノカオリを原料とした商品・料理のPR、大麦では新商品開発やもち性大麦の新たな産地化に向けた検討を行い、県産麦の需要拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>実需と連携した生産の取組:4地域<br/>県産大麦新商品の開発:2点<br/>小麦関連PRイベント開催:3回<br/>大麦関連展示会への出展:5回(うち台湾1回)</p>   | <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p> |
|    | <b>くまもと茶ビジネス確立支援事業</b>   | 6,948                     |
| 33 | <p>広報媒体によるPR及びイベント・キャンペーンの開催を推進するとともに、県外実需者への販促活動に取り組み、また国際スポーツ大会における情報発信により県産茶の流通の促進及び消費の拡大を図った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本格付認証茶「湧雅のこちち」CM 4月～12月</li> <li>・国際スポーツ大会におけるPR活動 2回</li> </ul>  | <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p> |
|    | <b>いぐさ産地総合支援事業</b>   | 13,288                    |
| 34 | <p>各種イベント・展示会で県産畳表の紹介、PRを実施した。特にラグビーワールドカップ関連イベントや女子ハンドボール大会会場において、和室の展示を行い県内外の消費者へいぐさの機能性や畳の魅力を知りしめた。</p> <p>(実績)</p> <p>各種イベント・展示会でのPR活動:8回(内国際スポーツ大会2回)</p>   | <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p> |
|    | <b>「毎日くだもの200グラム運動」の啓発活動支援</b>   | 885の一部                    |
| 35 | <p>尚綱大学栄養科学科学生を対象に、くだものセミナーを開催した。また、TV番組のプレゼント企画へ旬の果物を提供し、県内消費者への情報発信を実施した。その他、県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供を行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー参加者23名</li> <li>・TKU「英太郎のかたらんね」プレゼント企画への果物提供4回</li> <li>・県内幼稚園・保育園等へのみかん・果物の情報提供(100園、園児9,449名)</li> </ul> | <p>農林水産部</p> <p>農産園芸課</p> |

|    |   |                    |
|----|---|--------------------|
|    | 一般社団法人熊本県野菜振興協会が実施する産地育成事業  | 2,415の一部           |
| 36 | 安全・安心な野菜生産および生産技術の向上を目的とした実証展示を設置した。また、本県野菜PRを目的とした野菜ソムリエ育成事業による県内生産者のソムリエ資格取得支援及び消費拡大のための県産野菜を利用した料理レシピの開発等のソムリエ資格者のPR活動支援を行った。<br>(実績)<br>展示ほ設置:3箇所<br>野菜ソムリエ育成:令和元年度資格所得支援1名<br>野菜ソムリエ支援団体:1団体<br>県産野菜料理レシピ作成:毎月1レシピ(JA熊本市広報誌へ掲載)  | 農林水産部<br><br>農産園芸課 |
|    | くまもと花っていいよね。キャンペーン活動への支援(花き協会補助事業)  | 1,604の一部           |
| 37 | 小中学校等を対象とした出張フラワーアレンジメント教室、父の日や母の日、敬老の日等における花きの贈呈や市電の装飾等のイベント活動、良い夫婦の日になんだ県内テレビ番組のスタジオ装飾を行った。<br>(実績)<br>フラワーアレンジメント教室開催:12校  | 農林水産部<br><br>農産園芸課 |
|    | くまもとの花生産流通推進事業のうち「新たな需要開拓・情報発信強化事業」及び「国際スポーツ大会における生花活用事業」   | 16,248の一部          |
| 38 | 毎月7日・8日を「くまもと花の日」とし、情報発信と県産表示を実施した。また、業務需要を開拓するため、ホテルロビー等での県産花きを用いた装飾を実施した。加えて国際スポーツ大会開催期間中に駅や空港、観光施設等での県産の生花を利用したおもてなしを実施した。<br>(実績)<br>「くまもと花の日」の実施:毎月1回<br>ホテルロビー等での装飾実績:ホテル4社<br>国際スポーツ大会開催に合わせた装飾実績:交通機関2か所、観光施設1か所、大会選手団宿泊ホテル9社 | 農林水産部<br><br>農産園芸課 |
|    | くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産銘柄豚生産流通対策事業」   | 0                  |
| 39 | 県産銘柄豚の生産が行われなくなったため、取組実績なし。   | 農林水産部<br><br>畜産課   |
|    | くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「熊本県産地鶏生産流通対策事業」  | 2,460              |
| 40 | 販促資材の作成・配布、イベントでのPR活動、県HP等を活用した販売情報の提供を行った。また、生産体制強化に係る生産者指導、販売促進検討会を行った。<br>(実績)<br>生産者指導:7回、販売促進検討会:1回、販売促進アンケート:1回   | 農林水産部<br><br>畜産課   |

|    |  |                            |
|----|--|----------------------------|
|    | <b>くまもと畜産物流通戦略対策事業のうち「食肉流通体制強化推進事業」</b>  | 8,902                      |
| 41 | <p>販促資材の作成・配布、イベントへの出展、新聞、フリーペーパー等の媒体を活用した広報活動、HPにおける県産牛肉のPR及び販売店の紹介、牛肉キャンペーンを実施した。</p> <p>また、県内で開催される国際スポーツ大会ファンゾーンなどにおいて、地理的表示(GI)登録産品である「くまもとあか牛」をはじめとする県産牛肉の試食販売・PRを行った。</p> <p>(実績)<br/>HPアクセス数:約4,461件、キャンペーン応募総数:2,561通</p> | <p>農林水産部</p> <p>畜産課</p>    |
|    | <b>くまもとジビエ活用支援事業(うち県単事業)</b>   | 13,285                     |
| 42 | <p>鳥獣被害防止対策の一環で捕獲したシカ及びイノシシの肉を地域資源として有効活用するため、「くまもとジビエコンソーシアム」を核として「くまもとジビエ」の理解促進と消費拡大を図った。</p> <p>(実績)<br/>ジビエフェアの開催:69店舗参加<br/>国際スポーツ大会ファンゾーン出店:4店舗<br/>ICTトレーサビリティ導入:4か所<br/>学校給食用ジビエ商品開発:5種、導入検討会:2回</p>                       | <p>農林水産部</p> <p>むらづくり課</p> |
|    | <b>くまもとの木を活かす木造住宅等推進事業</b>   | 39,366                     |
| 43 | <p>木造住宅や公共性の高い民間施設の新築及び増改築を施工する工務店等に県産木材及び県産緑化木を提供することによりその良さを周知啓発し、木材の需要拡大を図った。</p> <p>(実績)<br/>県産材提供件数:住宅141棟、事業所2棟</p>  | <p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>  |
|    | <b>くまもとの木を活かす木造住宅等推進事業のうち「木を活かした景観づくり支援事業」</b>   | 10,720                     |
| 44 | <p>多くの県民が利用し、又は目に触れる公共的空間(観光地や商店街等)に、県産木材を使用した建築物、案内板、標識等の設置又は補修(県産木材を使った補修に限る)をすることにより、実施地域における一定の広がりのある統一景観(町並み、自然、歴史及び文化的空間)の形成を図った。</p> <p>(実績)<br/>実施件数:13件</p>   | <p>農林水産部</p> <p>林業振興課</p>  |
|    | <b>くまもとの漁村元気づくり事業のうち「くまもと四季のさかな推進活動」</b>   | 1,418                      |
| 45 | <p>県内大型商業施設で県民に対する「くまもと四季のさかな」の認知度向上や、販売力強化を図るために、県主催のPRイベントを実施予定であったが、コロナウイルス対策のため中止した。</p> <p>(実績)<br/>・くまもとの魚まつり2020開催(2月23日～24日)<br/>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>   | <p>農林水産部</p> <p>水産振興課</p>  |
|    | <b>職員住宅畳替えに伴う県産いぐさの利用</b>  | 5,728の一部                   |
| 46 | <p>熊本県職員健軍住宅の畳表替え(192枚)及び本渡広瀬住宅(5住宅)の畳表替え(609枚)について、県産いぐさを使用するよう仕様書に明記し消費拡大を図った。</p> <p>(実績)<br/>畳表替え:801枚</p>   | <p>総務部</p> <p>総務厚生課</p>    |

|    |   |                  |
|----|---|------------------|
|    | <b>水前寺二丁目宿舍畳表替えに伴う県産いぐさの利用</b>  | 1,088の一部         |
| 47 | 水前寺二丁目宿舍の入退舎等に伴う畳表替えにおいて、県産イ草を使用するように仕様書に記載し、消費拡大を図ることとしていたが、畳表替えの必要がなかったため実績はなかった。<br>(実績)<br>実績なし   | 総務部<br>財産経営課     |
|    | <b>社会福祉施設等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例に基づく地産地消の推進</b>   | (ゼロ予算)           |
| 48 | 社会福祉施設等指導監査説明会においてパンフレットを配布し、地産地消の取組推進を依頼するとともに、社会福祉施設の指導監査の際に地産地消の実施状況について確認し、未実施の施設に対しては、地産地消の取組に努めるよう助言を行った。<br>(実績)<br>社会福祉施設96件に監査を実施                        | 健康福祉部<br>健康福祉政策課 |
|    | <b>県産品販路開拓事業のうち「くまもと物産フェア事業」</b>  | 900              |
| 49 | 県産品の販路拡大を図るため、商工団体と農林水産団体が連携し、県下最大級の食のイベントとして、令和元年11月2日～3日の2日間、第24回くまもと物産フェアを開催した。<br>(実績)<br>来場者数:約20,000人、出展事業者数:約250社・団体                                       | 商工観光労働部<br>観光物産課 |
|    | <b>マーケット拡大支援事業のうち「くまもとの酒消費拡大推進事業」</b>   | 5,500            |
| 50 | 県内酒造関係団体が主体となって行う、大都市での販路開拓や県産酒PRの取組、県が新たに開発した酒米「華錦」使用銘柄のPR活動を支援した(団体への補助)。<br>(実績)<br>補助実施:2団体   | 商工観光労働部<br>観光物産課 |
|    | <b>くまもとで乾杯！県産酒推進事業</b>  | 4,521            |
| 51 | くまもと県産酒で乾杯条例の周知及び県産酒による乾杯推進のため、PRのぼりを作成し県内ホテル等に配布した。<br>また、県産酒を飲める店を検索できるWEBサイトを作成し、県産酒愛飲の機運醸成と環境整備を図った。<br>(実績)<br>のぼり配布先(県内ホテル等):30団体<br>県産酒を飲める店検索サイト掲載店舗数:50店 | 商工観光労働部<br>観光物産課 |
|    | <b>公営住宅維持補修事業のうち「県営住宅畳替え工事」</b>   | 420,032の一部       |
| 52 | 更新時期に至った畳(畳床及び畳表)の取替えにおいて、県産いぐさ畳表を使用した。<br>(実績)<br>県営江津湖団地及び県営八島団地(住戸数162戸、1,977畳)  | 土木部<br>住宅課       |
|    | <b>公営住宅ストック総合改善事業のうち「住戸改善工事」</b>  | 94,902           |
| 53 | 住戸内のバリアフリー化を行う「住戸改善工事」において、段差解消を行う床の一部を県産木材とした。<br>(実績)<br>・県営大江団地6戸、県営東本町団地3戸、県営泉ヶ丘団地2戸、県営上熊本団地17戸   | 土木部<br>住宅課       |

|    |  |                         |
|----|--|-------------------------|
|    | <b>患者給食材料の購入</b>   | 98,516の一部               |
| 54 | <p>給食業務委託に際しての仕様書において、一部食材については熊本県産又は熊本県内製造品を使用し、その他の食材についても、可能な限り熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努めるよう規定することにより、引き続き熊本県産又は熊本県内製造の食材の使用に努める。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食材料のうち、米、鶏卵については熊本県産品を使用。牛乳、豆腐類、パン類及び醤油・味噌・酒類については、熊本県内製造の食材を使用。</li> <li>その他の食材についても、可能な限り、熊本県産又は熊本県内製造の食材を使用。</li> </ul> | <p>病院局</p> <p>総務経営課</p> |
|    | <b>警察施設維持管理事業</b>  | 11,000の一部               |
| 55 | <p>県産いぐさ畳による宿舍の畳表替えを実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>畳表替え:38戸560.5畳</p>  | <p>警察本部</p> <p>会計課</p>  |

### (3) 経済循環及び地域活性化

農林水産業と商工業、観光産業、学校等多様な産業又は組織との連携等により、県内農林水産物等を活用した加工商品の開発やイベントの開催等を行い、地域経済の活性化を図る。

|    | 事業又は取組名  | 令和元年度最終予算額(千円)                 |
|----|--|--------------------------------|
|    | 事業又は取組の概要  | 担当部・課                          |
|    | <b>くまもと6次産業化総合支援強化事業</b>   | 158,900の一部                     |
| 56 | <p>衛生管理向上機器導入支援、商品開発及び商品力向上支援、販路拡大支援等、6次産業化に取り組む生産者の発展段階に応じた支援を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>熊本6次産業化サポートセンターの設置、衛生管理向上機器導入支援(9件)</p>   | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |
|    | <b>6次産業化商品魅力発信事業</b>   | 9,369                          |
| 57 | <p>地域に存在する6次産業化商品を磨き上げ、商品を県内や都市圏へ向けて情報発信した。また、令和2年2月に開催予定だった全国発酵食品サミットは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>くまもと「食」「農」アドバイザー小泉武夫氏、百貨店バイヤーを町へ派遣:1か所</li> <li>全国発酵食品サミット<br/>(開催日:2月22日～23日、開催場所:グランメッセ熊本)<br/>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> </ul> | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |

|    |   |                         |
|----|---|-------------------------|
|    | <b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「地産地消協力店の指定」</b>   | 1,462                   |
| 58 | 各関係機関を通じたチラシの配布や、イベントへの出展による周知・募集、ラジオ・HPなども活用して応募を推進するとともに、各地域振興局等関係機関の協力も得て未指定店舗への要請、勧誘を行った。<br>(実績)<br>協力店数:817店舗(令和2年3月末時点)  | 農林水産部<br><br>流通アグリビジネス課 |
|    | <b>新規需要米総合推進事業のうち「米粉需要開拓対策」</b>   | 21,852の一部               |
| 59 | 県産米粉を活用した商品の開発やPR等、販売促進を実施する県内事業者への支援を行った。また、学校給食での県産米粉の活用を推進するため小中学校の栄養教諭・学校栄養職員を対象に米粉料理講習会を実施した。<br>(実績)<br>米粉需要開拓対策支援:1団体、学校給食向けの米粉料理講習会の開催:1回   | 農林水産部<br><br>農産園芸課      |
|    | <b>加工原料米多収化推進事業</b>   | 10,146の一部               |
| 60 | 自立的な生産体制の確立に向け、地元産焼酎原料米を生産した農家に対し、多収性品種の作付面積、出来高に応じて助成した結果、作付面積が増加した。多収技術確立のための実証展示ほを設置し、多収技術の実証ができた。<br>(実績)<br>作付面積:118.0ha(3.5ha増)、生産数量:508.3t(160.9t減)、契約蔵元数:18(増減なし)、展示ほ設置数:3カ所  | 農林水産部<br><br>農産園芸課      |
|    | <b>女性農業者等元気づくり事業</b>  | 3,368                   |
| 61 | 地域チャレンジ活動支援として、農業理解活動や新たな加工品開発、6次産業化に伴う農業経営の高度化支援を行うとともに、農山漁村女性活躍表彰を実施した。なお、表彰式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期し、令和2年度農業女性アドバイザー研修会内で実施の予定。<br>(実績)<br>地域チャレンジ活動支援:10団体、表彰:熊本県知事賞1個人<br>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため表彰式は延期  | 農林水産部<br><br>農地・担い手支援課  |
|    | <b>公共施設・公共工事における県産木材の利用推進本部会議</b>   | (ゼロ予算)                  |
| 62 | 県が行う公共施設・公共工事等において、可能な限り県産材の利用推進を図り、関連する取組を市町村や関係機関、ひいては県民まで波及を図るため、以下の事業に取り組んだ。<br>(1)公共施設における木材利用の推進<br>社会福祉施設・公営住宅、警察署、庁舎、研究施設等の木造化・木質化に向けた普及<br>(2)公共工事における木材利用の推進<br>仮設防護柵、型枠、工事看板、木製構造物等で利用<br>(3)備品や消耗品等における木材利用の推進<br>木になる紙の使用<br><実績><br>推進本部会議:10月開催<br>平成30年度における対象施設の木造率:75%(内県施設については100%) | 農林水産部<br><br>林業振興課      |

|    |  |  |
|----|--|--|
|    | <b>くまもと地域材利用拡大推進事業</b>   | <b>3,667</b>   |
| 63 | 地域住宅生産者グループ等が主体となり、これから木造住宅やリフォーム等を実施する県民に、県産木材を選択してもらうための各種取組に対して支援を行うことにより、県産木材の利活用の最大化を図った。<br>(実績)<br>支援団体(7団体)  | 農林水産部<br><br>林業振興課                                       |
|    | <b>資産の有効活用(県有施設における自動販売機設置事業者の選定)</b>  | <b>(ゼロ予算)</b>  |
| 64 | 県庁に設置する自動販売機設置事業者の公募において、地産地消商品を優先的に取り扱うよう募集要項に記載するとともに、県庁プロムナードに設置する自動販売機については、販売する商品の6割以上を地産地消商品とするよう条件を付して公募を行った。<br>(実績)<br>自動販売機の設置台数 16台(うち地産地消条件付き2台) | 総務部<br><br>財産経営課   |
|    | <b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「交流促進の取組」</b>   | <b>183,000の一部</b>  |
| 65 | 市町村や地域団体による地域の食や文化等の資源を活用した取組に対する補助を行った。<br>(実績)<br>補助:20件 76,289千円  | 企画振興部<br><br>地域振興課                                       |
|    | <b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「コミュニティ・ビジネス起業化の取組」、「地域のしごとおこしの取組」及び「農業の地域資源(宝)活用の取組」</b>   | <b>183,000の一部</b>  |
| 66 | 高齢者の働く機会や交流の場を創出する取組、地域の農産物を利用した特産品の販路拡大の取組等に対する補助を行った。<br>(実績)<br>補助:6件 6,991千円   | 企画振興部・健康福祉部<br>(・農林水産部)<br><br>地域振興課・健康福祉政策課<br>(・農業技術課) |
|    | <b>地域づくり夢チャレンジ推進事業のうち「企業等による地域づくり応援の取組」</b>  | <b>183,000の一部</b>  |
| 67 | 企業による、球磨焼酎の販路拡大・消費需要の拡大のためのPRイベントへの補助を行った。<br>(実績)<br>補助:1件 2,878千円  | 企画振興部<br><br>地域振興課                                       |
|    | <b>公益財団法人水俣・芦北地域振興財団地域振興事業</b>   | <b>(ゼロ予算)</b>  |
| 68 | 水俣地域で生産される和紅茶のブランド推進を図り、イベントなど広くPRを行う事業への支援を行った。<br>(実績)<br>・みなまた和紅茶の茶摘み・茶もみ体験バスツアーの支援(9月14日)<br>・「第2回九州和紅茶サミットin水俣」開催支援(11月2日)                              | 企画振興部<br><br>地域振興課                                       |

|    |  |  |
|----|--|--|
|    | <b>水俣・芦北地域産業振興と雇用創出事業</b>  | <b>64,456の一部</b>                             |
| 69 | <p>地域事業者の展示商談会等の出展支援、環境配慮型農業による農産品の販売支援、新商品の開発支援、和紅茶のブランディング、水産資源のブランド化及びマガキ養殖の支援、地元林産材の活用推進等を行った。</p> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示商談会等の出展支援</li> <li>・アボカドのブランディング及び販路開拓支援</li> <li>・地元食材を活用した新商品の開発支援(5品)</li> <li>・和紅茶の販路開拓支援</li> <li>・水産資源(マガキなど)のブランディング及び販路開拓支援</li> <li>・「つなぎオイスターバル」の地元林産材を利用した備品整備等</li> </ul> | <p>企画振興部</p> <p>地域振興課</p>                    |
| 70 | <p><b>「食と健康」産業創出支援事業のうち「商品開発アドバイザー事業」</b></p> <p>県内企業の商品開発における課題や新商品のシーズとなる技術に対して、商品開発アドバイザーを設置することで企業の特徴及び体制等を考慮しながら、開発した商品の販路拡大を目指した伴走支援を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>支援企業実績:16社</p>  | <p>6,255の一部</p> <p>商工観光労働部</p> <p>産業支援課</p>  |
| 71 | <p><b>「食と健康」産業創出支援事業のうち「展示会出展事業等」</b></p> <p>健康志向の高まりから、今後成長が期待される付加価値の高い健康志向食品等の販路開拓を支援するため、県内企業の製品の差別化や販路拡大の支援として、「食と健康」に関する研修会を開催した。なお、県内企業6社の展示会出展支援を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により展示会が開催中止となった。</p> <p>(実績)</p> <p>「食と健康」に関する研修会:1回(参加者76名)</p>  | <p>6,255の一部</p> <p>商工観光労働部</p> <p>産業支援課</p>  |
| 72 | <p><b>加工技術向上事業及び農商工連携推進事業</b></p> <p>県産農産物を活用した売れる商品づくりを支援するため、商品計画、加工技術、品質管理の向上のための研修指導等を実施した。</p> <p>(実績)</p> <p>食品加工技術研修会:2回、技術相談及び指導:309回</p>  | <p>635</p> <p>商工観光労働部</p> <p>産業技術センター</p>    |
| 73 | <p><b>農産加工研究開発事業(特別支援事業)</b></p> <p>県産農産物および加工食品の安全・安心および品質管理のため殺菌技術に関する研究において、クリのUVオゾン殺菌や殺菌剤処理後の保存方法の検討、カンキツ加工品に対して物性、機能性等の変化を抑えた殺菌温度の検討および剥皮技術の開発を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>カンキツ加工品(晩柑シロップ漬け)製造における剥皮技術の開発と殺菌・貯蔵方法の確立、クリ表面に発生する糸状菌(カビ)に対する殺菌効果の検証</p>  | <p>2,220</p> <p>商工観光労働部</p> <p>産業技術センター</p>  |
| 74 | <p><b>熊本県食料産業クラスター協議会</b></p> <p>熊本県食料産業クラスター協議会が開催する食農連携促進企画運営会議及び講演会等に参加し、アドバイザーとして支援を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>支援回数:2回</p>  | <p>(ゼロ予算)</p> <p>商工観光労働部</p> <p>産業技術センター</p> |

|    |  |                             |
|----|--|-----------------------------|
|    | <b>農商工連携推進事業</b>   | (ゼロ予算)                      |
| 75 | <p>熊本県農商工連携推進協議会において、農商工連携の活性化について各機関が連携して事業者への支援を行うため、支援状況の情報交換を行うなど、連絡体制の強化を図った。</p> <p>(実績)</p> <p>熊本県農商工連携推進協議会支援等調整部会(1回開催)での情報交換等を通して連絡体制を強化</p> | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p> |
|    | <b>マーケット拡大支援事業のうち「プレミアム商品開発支援事業」</b>   | 475                         |
| 76 | <p>首都圏で品質にこだわった商品を取り扱う「(株)こだわりや」と、県内事業者が連携して取り組む新商品開発等の取組を支援するとともに、R2年3月に(株)こだわりやの店舗においてくまもとフェアを開催した。</p> <p>(実績)</p> <p>くまもとフェア参加店舗:43店</p>           | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p> |
|    | <b>マーケット拡大支援事業のうち「新商品開発・テストマーケティング支援事業、農商工連携販路開拓支援事業」</b>  | 1,203                       |
| 77 | <p>産業技術センター等の支援を受け、農商工連携により新商品を開発し、テストマーケティングを行う事業者及び県外への展示会等へ出展する事業者を支援した。</p> <p>(実績)</p> <p>補助:9件</p>   | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p> |
|    | <b>物産振興事業のうち「物産館運営事業」</b>  | 7,766                       |
| 78 | <p>季節感や地域性、話題性を打ち出したフェア、県産品のお中元やお歳暮の販売促進及び展示販売等を実施した。また、県内及び県外の物産展やイベントに出展し、県産品の展示販売を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>物産展等への出展:22回</p>                          | <p>商工観光労働部</p> <p>観光物産課</p> |

#### (4) 農林水産業が果たす多面的機能の再認識

農林水産業及び食に関する体験イベント等を通じて、都市住民と農山漁村住民、生産者と消費者の交流活動を促進し、農林水産業が果たしている多面的機能（国土や自然環境の保全、水源の涵養、癒しの場等）への再認識を図る。

| 番号 | 事業又は取組名  | 令和元年度最終予算額(千円)                 |
|----|--|--------------------------------|
|    | 事業又は取組の概要  | 担当部・課                          |
|    | <b>くまもと地産地消利活用促進事業のうち「くまもと食・農ネットワーク活動への支援」</b>   | 435                            |
| 79 | <p>8月28日に総会と研修会を開催した。研修会では「郷土愛でつながる『都市(食)』と『農村(農)』」をテーマに、村づくりアドバイザー 三善 浩二氏の講演と白糸第一自治振興会会長の草野 昭治氏による通潤用水と棚田を活かした地域活性化の事例発表を行った。</p> <p>(実績)</p> <p>研修会参加者:53名</p> | <p>農林水産部</p> <p>流通アグリビジネス課</p> |

|    |   |                  |
|----|---|------------------|
|    | <b>地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「県民理解の促進・消費拡大推進事業」</b>  | 18,045の一部        |
| 80 | 地下水と土を育む農業の理解促進のため、地下水と土を育む農畜産物収穫祭を開催し、くまもとグリーン農業表彰や地下水と土を育む農畜産物を用いた料理の提供等を行った。また、小学校4年生用に社会科用副読本を作成し県内の小学校へ配布した。<br>(実績)<br>副読本配布数:18,660部 | 農林水産部<br>農業技術課   |
|    | <b>地下水と土を育む農業総合推進事業のうち「くまもとグリーン農業推進事業」</b>  | 17,189の一部        |
| 81 | くまもとグリーン農業農産物を購入した方へ、抽選でくまもとグリーン農業及び地下水と土を育む認証農畜産物をプレゼントするくまもとグリーン農業応援キャンペーンを実施した。<br>(実績)<br>キャンペーン応募総数:4,121件                             | 農林水産部<br>農業技術課   |
|    | <b>都市農村交流対策事業</b>   | 6,711            |
| 82 | 都市農村交流(グリーン・ツーリズム)をコーディネートする組織と人材の育成確保、受け入れ体制の整備、情報発信の拡大及び農業と観光、教育、福祉、環境等他分野との融合連携に向けた取組を支援し、交流・滞在人口の増加を図った。<br>(実績)<br>補助:1市               | 農林水産部<br>むらづくり課  |
|    | <b>中山間地域サポート推進事業のうち「田んぼの学校」</b>   | 4,000            |
| 83 | 子どもたち等を対象とした農業・農地及び土地改良施設の多面的機能に対する理解向上に役立つ交流活動を支援した。<br>(実績)<br>補助:8市町村9団体   | 農林水産部<br>むらづくり課  |
|    | <b>中山間地域サポート推進事業のうち「棚田ツアー」</b>  | 2,500            |
| 84 | 棚田における体験型のツアー等の地域住民活動を支援し、都市部の参加者と地元住民の交流を通じて棚田のすばらしさと現状を伝え、県民の棚田保全への理解を深めた。<br>(実績)<br>補助:6市町村7団体  | 農林水産部<br>むらづくり課  |
|    | <b>地域の縁がわづくり推進・支援事業</b>   | 3,392の一部         |
| 85 | 地域の縁がわ取組団体を集めて、農業をとおした自立支援に取り組む障がい者自立支援事業、地元農産物を活用した子ども食堂の取組等の発表を行った。<br>(実績)<br>開催回数1回(参加者数 304人)  | 健康福祉部<br>健康福祉政策課 |
|    | <b>地域福祉総合支援事業</b>   | 28,194の一部        |
| 86 | 地域の縁がわ等の整備や、地域の縁がわ等における地元の農林水産物等を活かした配食・会食サービス等に対して助成を行った。<br>(実績)<br>補助:25団体、20,192千円  | 健康福祉部<br>健康福祉政策課 |

(5) 条例の周知、意識啓発等、条例の直接的な推進に係る取組

| 番号 | 事業又は取組名  | 令和元年度最終予算額(千円)                     |
|----|--|------------------------------------|
|    | 事業又は取組の概要  | 担当部・課                              |
| 87 | くまもと地産地消推進庁内連絡会議   | (ゼロ予算)                             |
|    | 「くまもと地産地消推進庁内連絡会議作業部会」において地産地消推進関係施策について意見交換を実施するとともに、「くまもと地産地消推進庁内連絡会議」にて県議会報告内容について検討を行った。また、平成30年度の取組実績、令和元年度の計画について、関係者へ情報提供を行った。<br>(実績)<br>作業部会での意見交換(4月)、連絡会議において県議会報告内容を検討(5月)、関係者への情報提供(7月) | -<br><br>流通アグリビジネス課<br>(及び連絡会議構成課) |
| 88 | 様々な広報媒体を活用した県民への条例周知   | (ゼロ予算)                             |
|    | 県庁ホームページや県地産地消サイトに条例や地産地消に関する情報を掲載、発信するとともに、様々な広報媒体を活用して県民への条例の周知・浸透と地産地消の意識醸成に取り組んだ。<br>(実績)<br>・県政ラジオ番組での意識啓発:1回<br>・地産地消メールマガジンの発行:毎月2回程度   | 農林水産部<br><br>流通アグリビジネス課            |
| 89 | イベント等での条例の周知及び情報発信   | (ゼロ予算)                             |
|    | 県内の各種イベントに地産地消の条例周知と推進を目的としたブースを出展し、来場者に対して広く情報発信を行った。<br>(実績)<br>県庁地下展示ブース展示(2月)、農業フェアブース出展(11月)  | 農林水産部<br><br>流通アグリビジネス課            |